

時間割コード	G2B45102	開講年度	2026					
授業題目	時について考えるゼミ				担当教員	安達 弘通		
英文授業名	'Toki ' Seminar							
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限		対象学生	全
講義室	共通教育33講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	大学DP							
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					時について多角的に考えられるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	時に関連した話題（近代以降の科学や思索の話が中心）をいくつか取り上げて授業をおこなう。基本的に教員による講義と受講生主体のグループワークとを隔週でおこなってゆく。対象学生は文理所属を問わない。							
(5)授業のキーワード	時；コミュニケーション、グループワーク、ピアレビュー							
(6)授業計画	以下の各テーマに2週ずつをあてて進めてゆく。 ・近代科学における時 ・機械仕掛けの宇宙と神のゆくえ ・物質界と精神界 ・暖かな宇宙 ・高次元の世界 ・心のなかの時の迷宮 期末にレポートを作成する。							
(7)成績評価の方法	授業への積極的な参加を前提とし、授業内の活動（ワークシートの作成、グループワーク）と期末レポートによって評価する。							
(8)成績評価の基準	授業内の活動および期末レポートにおいて、(i) 課題の把握が適切であり、(ii) 主体的な取り組み、探究心、向学心が垣間見られ、(iii) 自分の考えや感想が述べられており、(iv) 教員を感心させる要素があれば「卓越している」。4つのうち3つまでであれば「かなり上にある」。2つまでであれば「やや上にある」。1つまでであれば「水準にある」。							
(9)事前事後学習の内容	テキストの予復習。ワークシート、レポートの作成。 この授業は90時間の学修を必要とする内容であり、60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(10)履修上の注意	1. ノートPCを持参すること（グループワークで使用）。 2. 配布物、提出物のやり取りはeALPSでおこなう。 3. ガイダンス資料であらためて詳細を確認すること。							
(11)質問,相談への対応	授業中、授業後（メールも可）							
(12)授業への出席	授業の全ての回に出席することを基本とする。							
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	活動の性質上、グループワークは「学修の補充」をおこなうことができない。「学修の補充の対象とする事由」に該当する場合であっても、グループワークへの不参加が3回以上ある場合、単位は認定できない。							
【教科書】	安達弘通、時に挑む科学と文学、学術研究出版、¥1,500+税							
【参考書】	指定しない							